2018年10月号「vol.100」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

ブロック塀安全対策、SNS活用相談事業…県議会第3回定例会で補正予算案など審議

今年の神奈川県議会第3回定例会が9月7日に開会し、12月21日までの予定で開かれています。知事からは一般会計補正予算案、収入印紙、医療法施行、県建築基準などの各条例の一部改正案も含め19議案が提出されて審議中です。後半からは昨年度予算の決算案についての審議も行われます。この中で注目されるのは補正予算案で、今回提出されたものは総額5億5,565万円で比較的小規模のものですが、事案は今日の世の中の動きを反映したものが多く含まれています。

今年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震で小学校のプールの塀が倒れ、登校中の4年生女児が死亡した事故を受け、コンクリートブロック塀のチェックと安全対策が全国的に展開されていますが、神奈川県でも各地の出先機関、県立高校、警察関連といった県所有施設のブロック塀のチェックを行い、その建て替えや補修を行う安全対策費が盛り込まれました。また県が行っている児童虐待防止、子ども貧困対策、女性に関する各相談の方法として新たにSNS（インターネットを介して人間関係を構築できるスマホ、パソコン用サービス）を活用した事業も始めるための費用、さらに国連の意向に沿うもので、今年6月、神奈川県が国の選定を受けたことで取り組むSDGs（持続可能な開発目標）適応の計画の促進事業費なども盛り込まれています。

【コンクリートブロック塀の安全対策費】

県では所有施設にあるブロック塀について、地震により崩れる心配がないかなど安全性の一斉点検を7月から9月初旬にかけて行いました。その結果、直ちに倒壊する恐れのあるものは見つかりませんでしたが、合計71施設の149カ所について補正予算案に計上した3億1,290万円の安全対策費でブロック塀の建て替えや補修などを行うことにしました。工事は年内に取り掛るということです。これらの内訳は出先機関などが14施設16カ所、磯子工業高校など県立高校14施設42カ所、藤沢北署、南区にある県警中村町分庁舎など警察関連が43施設91カ所となっています。

【SNSを活用した相談事業の試行的な取り組み】

2,806万円。児童虐待など3つの相談事業について新たに「LINE」を利用しての相談事業を始めます。広報活動の後、2月に試行、3月に効果・課題の検証を行ったうえ、来年度から事業を始めます。

【SDGs推進事業】

6,000万円。国に選定された「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」の計画について3年継続で実施します。まずSDGsの普及啓発や藤沢の住宅地での住民個々に応じたケア手法の確立などの実証活動を行い、社会的課題につながるのか評価を行うことにしています。

コレが言いたい！

今回の補正予算は額が少ないものの、県有施設のブロック塀の安全対策や平成30年7月豪雨・台風12号により全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、本県における大規模風水害に対する「未然防止の取り組み（県管理海岸等に監視カメラの設置や緊急速報メール機能に土砂災害警戒情報を追加するなど5,900万円）」を行うものです。県民の安全安心を守るためにも早急に対応する事業です。

今月のひと言

10月は未病月間です。月間を中心に、県内各地で未病コンセプトを普及するための講演会等が開催されます。横浜市内では、11月10日にパシフィコ横浜で「未病改善県民シンポジウム」、12月1日にクイーンズスクエアで「健康チャレンジフェアかながわ2018」が実施されます。

磁子 あれ？これ？

馬頭観音石像（洋光台6-16）

馬頭観世音菩薩は、ヒンズー教神が馬に化身して、悪魔に奪われた聖典を取り戻した話が起源で、日本では奈良時代以降に信仰されました。

馬頭観音像は、馬頭を頭上に頂いた姿や、文字が彫られたものが多い。またそのほとんどが村の境界を示すものや道しるべ、或いは農耕や運搬に使われた馬の供養として造立されました。

峰白山神社に通ずる高台の道沿いにある庚申塚は、もともと庚申塔があった場所で、庚申塔をはじめ地蔵尊、2基の馬頭観音、供養塔など合わせて10数基の石像があります。これらは、元は別の場所にありましたが、昭和40年代の洋光台地区の開発と高速道路の開通により、今の場所へと移されました。馬頭観音は、1つが万延2（1861）年正月吉日、もう1つは大正6（1917）年11月17日と刻まれています。

これとは別に、峰白山神社近くの高速道路高架橋脇にも3基ありますが、造立時期はさまざま。一つは明治12（1879）年と刻まれています。

参考：磁子の史話・地元の方のはなし

活動報告

9月14日、第3回定例議会の会議後、ユニバーサルマナー研修が行われました。障がいのある方や高齢者、ベビーカー利用者などの視点に立ち、行動するための「こころづかい」を学ぶもので、障がいのある当事者がカリキュラムを監修しています。ユニバーサルマナーを求めている方は人口の37%にものぼります。多様な方々と向き合うために100点満点を目指すのではなく、常に歩み寄っていく姿勢で寄り添う気持ちを持つことが大切で、「ハードは変えられなくても、ハートは今から変えられる。」と言う言葉が印象的でした。

◀ユニバーサルマナーのマーク

▲北海道胆振東部地震の被災地救援募金活動を横浜駅西口にて行いました。

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成27年4月 県議会議員2期目当選
- ●産業労働常任委員会委員
- ●ともに生きる社会推進特別委員会委員長
- ●美しい環境づくり推進協議会委員
- ●政務調査会副会長

✉ あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600